第Ⅲ期中期計画: エ-(エ)-a 持続可能な地域づくりを支える産業の振興

研究推進	研究・技	取り組み内容			第 III 期	成果の普及、利用場面	アウトカム			
項目	術領域		R2	R3	R4	R5	R6	R7 以降		
1. ものづ くり基盤 カを強化	(1)高分子 材料、複合 材料	①プラスチック材料の高機能化に関する研 究開発		機能性	プラスチック	・民間企業へ技術移転	高分子材料・複 合材料製品開 発力の向上			
するため の研究開	1944	②材料の複合化技術の開発		バイオマス	 	 炭素繊維複合 	 オ料の開発 		・民間企業へ技術移転	
発					<u> </u>	無機ポリマ	I アーの利用技術 I	所の開発		
	(2) 地域資源有効活	①無機資源の有効利用・高機能化技術の開発			\longrightarrow	•	技術を用いた	$\qquad \qquad \longrightarrow$	・民間企業へ技術移転	地域資源を活 用した製品開 発力の向上
	用	②粉体処理技術を用いた製品開発					た鮮度保持技	柳の開発		
			粉体処理	里による未利月 	用資源を原料と 	した機能性素	材の開発		・民間企業へ技術移転	
		③有機未利用資源高度利用のための製造プロセスの開発		 	天然由来物	│ 質の高機能化分 │ │	├ }離・反応プロ	マセスの開発	・民間企業へ技術移転	
	(3)素形材	①金属材料及び加工技術の開発	\Longrightarrow	金属	│ 材料の特性強位 	+ 化等に関する <u>‡</u> -	技術開発		・民間企業へ技術移転	素形材加工技 術力の向上
			\Longrightarrow		金属製品の高	' 機能化·高品位 '	, 加工技術の開 	発 		
		②3Dものづくり技術の高度化に関する研究開発	複合AM技術	 を用いた高機 	能部品製作法(の開発 金原	 	技術開発	・民間企業へ技術移転	
		③検査・メンテナンス技術の開発		<u> </u>	現場補信	 	ラの開発 		・民間企業へ技術移転	大型機械の高 度再生技術の 構築
	(4) デザイ ン	①人間中心設計関連技術の開発		<u> </u>	人間中心設訂	┃ ┃ 計のためのプロ	トタイピング	が技術の開発	・民間企業へ技術移転 ・技術講習会等で普及	デザイン活用 カの向上

エ-(エ)-a 持続可能な地域づくりを支える産業の振興(つづき)

研究推進 項目	研究・技 術領域	取り組み内容			第 III 期	第 IV 期	成果の晋及、利用場面	アウトカム				
切口	刚识玖		R2	R3	R4	R5	R6	R7 以降				
2.情報通信技術の	(1)情報通信と計測	①計測情報技術の高度化に関する研究開発	分光イメー	ジングによる	│ 異物検査技術の ▶│	開発 			・民間企業へ技術移転	情報通信機器 開発力の向上		
高度化と 活用技術 の開発				<u> </u>	「像・光計測に』 〉	・ る検査・評価 -	■技術の開発 ■ ★					
		②AI・大規模データ解析の高度化に関する研究開発		機械学習に	 よる知的認識半 	│ 判断作業の支援 ┃	 援技術の開発 		・民間企業へ技術移転			
		③電磁波を活用した計測技術に関する研究 開発			一次産	 業向け電磁波 ⁻ 	 センシング活月 	用技術の開発	・民間企業へ技術移転			
	(2)制御・機 械 システ	①生産機械・システム、ロボット技術の開発		遠	│ 隔操作・作業支		・民間企業へ技術移転	省力化機器の 高度化および				
	ム、ロボッ ト				収 →	l 穫作業向け省 │ ─	」 力化技術の開:	· 発 ·		開発力の向上		
	(3)生活·作 業支援	①生体情報計測・解析技術の研究開発		I CTによる	→ 介護予防支援? →	 	řŧ	,	・民間企業へ技術移転 ・自治体の施策への反映	健康・福祉機器 開発力の向上		
		②人間の特性に基づいた作業支援・軽労化関 連技術の開発			熟練技能	 の継承支援手 	法の開発	,	・民間企業へ技術移転	製造現場にお ける生産性の 維持		
					>	□ 作業負担軽減 □	- システムの開: -	発				

第Ⅲ期中期計画: エ-(エ)-b 成長力を持った力強い食関連産業の振興

研究推進	研究・技	取り組み内容			第 III 期	第 IV 期	成果の晋及、利用場面	アウトカム		
項目	術領域		R2	R3	R4	R5	R6	R7 以降		
1. 農水産 物の品質・ 加工適性 などの評	(1) 利 活 用 技術	①子実とうもろこしの食品素材化技術の開 発	食素材化 技術開発	製菓	・製パン用素 ²	材の利用技術	の開発	•	民間企業へ技術移転	農産物と加工 品の市場競争 力強化
価 と 利 活 用 技 術 の		②道産農産物の調理品製造技術の開発	野菜のレト	 ルト加工技術 	 の開発 -				民間企業へ技術移転	
開発			成形フライ	 ドポテト製造 	I 方法の開発 ├───					
		③道産米資源の食品素材化技術の開発		米粉の	┃ ┃ 用途別加工適怕 ┃	 性の解明	•		民間企業へ技術移転	
		④低利用副産物の新たな用途に向けた技術 開発		果実搾汁残渣を利用した食品素材の実用化				化	民間企業へ技術移転	
		⑤道産農産物の利活用技術の開発		製バ	ン性向上に向	 けた小麦ふす 	まの粉砕技術	の開発	民間企業へ技術移転	
		⑥道産牛肉の品質評価技術の開発	乳用種牛肉 の肉質評価 と製品開発	経産牛の肉質	 	 発 	,		民間企業へ技術移転	畜産物と加工 品の市場競争 力強化
		⑦冷燻製品製造における燻製工程の評価手 法の開発	燻煙成分の	付着度の評価に	方法開発				民間企業へ技術移転	
		地撃の肉質特性を注かした加工品開発 コーニュー コーニュート	民間企業へ技術移転 生産者へ情報提供							
		 ⑨道産ナチュラルチーズの高品質化技術の 開発	セミ	ミハードチーズ	 	か の の の 「	 発酵副産物を消 ナチュラルチー	────────────────────────────────────	民間企業へ技術移転	

第Ⅲ期中期計画: エ-(エ)-b 成長力を持った力強い食関連産業の振興(つづき)

研究推進	研究・技	取り組み内容			第 III 期		第 IV 期	 成果の普及、利用場面	アウトカム			
項目	術領域	77 7120773	R2	R3	R4	R5	R6	R7 以降	/XXV 6 / 17/11/3 LL	, , , , , , ,		
1. 農 水 産 物の品質・ 加 エ 適 性	(1) 利 活 用 技術	⑩道産ブリ加工品の製造技術の開発⑪常温流通食品の高品質化技術の開発		ブリ	リ高次加工品 <i>の</i>)開発			民間企業へ技術移転	水産物と加工 品の市場競争 力強化		
など利活の対象の				魚臭を抑えが	と骨まで食べら	 られる製品開発	ŧ →		民間企業へ技術移転			
開発		⑩水産食品の食感制御技術の開発	生ハム様魚肉	加工品の製造	 技術の開発 	1			民間企業へ技術移転	_		
			ふっく	らとした食感	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	- しの開発 						
		③水産食品の劣化抑制技術の開発			υ	│ 	— 魚肉加工品の閉 ————	 発 	民間企業へ技術移転			
		(単水産食品の品質向上技術の開発				魚	 醤油の風味強(比技術の開発	民間企業へ技術移転			
		⑤活貝輸送技術の開発	ホタテ活貝の	韓国向け輸送	 			, 				
	(2)品質評価	16道産素材活用による機能性に優れた食品 開発	道産豆類? 低糖質麺 <i>の</i>	を活用したの開発	道産コンブ	 	糖質食品の開発	É 	民間企業へ技術移転	農畜水産物の 新たな価値の 創出		
		①道産菓子向け小麦粉の品質向上	菓子向	可け小麦粉の品	 品質評価およて	 	 所の開発 ▶		民間企業へ技術移転			
		®冷燻製品製造における燻製工程の評価手 法の開発			冷燻製品	 	法の開発		民間企業へ技術移転	_		
		り道産加工品の付加価値向上に向けた品質 評価技術の開発	高鮮度ホッケを活用した付加価値向上技術の開発						民間企業へ情報提供			
						ワインの	,)特性評価方法 :	の開発				

第Ⅲ期中期計画: エ-(エ)-b 成長力を持った力強い食関連産業の振興(つづき)

研究推進	研究・技	取り組み内容			第 III 期	第 IV 期	成果の普及、利用場面	アウトカム		
項目	術領域	30.7.12.7.1.2	R2	R3	R4	R5	R6	R7 以降	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	
1. 農 水 産 物の品質・ 加 エ 適 性 な ど の 評	(3) 微生物利用	⑩有用細菌の利用による水産加工品の品質 向上	身欠きニシンの 品質向上技術の開発 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・						民間企業へ技術移転	発酵醸造食品 の市場競争力 強化
価と利活 用技術の 開発		②道内分離酵母の利用による道産ワインの 品質向上	 赤ワイン用酵 ■■■	 母の選抜と実月 	 用性評価	1			民間企業へ技術移転	
(71) 75			ワイナリーで	の実証と実用(<mark></mark>					
		②乳製品製造に利用できる道内分離乳酸菌 の探索と活用	発酵乳向け 分離選抜法						民間企業へ技術移転	
		③シードル製造技術の開発	道産りんごの	 品質を活かし7 	た醸造技術開	 発 			民間企業へ技術移転	
		④道産ワインの品質向上	赤ワイン用酵母の選抜と実用性評価						民間企業へ技術移転 生産者へ情報提供	-
			FT-IR ワイン分析計による道産ワインの成分評価、品質管理指標の検索、醸造成分データの蓄積							
								$\xrightarrow{\perp}$		

第Ⅲ期中期計画: エ-(エ)-b 成長力を持った力強い食関連産業の振興(つづき)

研究推進	研究・技	取り組み内容			第 III 期	第 IV 期	成果の普及、利用場面	アウトカム		
項目	術領域		R2	R3	R4	R5	R6	R7 以降		
2. 農水産 物と加工	(1) 微 生 物 制御	①冷蔵食品の微生物制御技術の開発		保存	字性を向上させ	る製造技術の	開発		民間企業へ技術移転	加工食品の高 品質安定供給
食品の安 全性確保 と品質・鮮				ロングライコ	フチルド食品の - 	D製造技術開発 	: 			に向けた安全 性確保
度保持技術の開発		②食品原料の微生物制御技術の開発	玄そば中の	── 細菌数低減化抗 ▶	技術の開発		原料中の芽に向けた測	→ 胞数低減化 定方法の開発 →	民間企業へ技術移転	1
	(2)品質保持	③冷凍食品の品質保持技術の開発	加工食品の品質保持技術の開発					•	民間企業へ技術移転	加工食品の高 品質安定供給
					冷凍すし館	Ⅰ 反の食感低下に ┃	 関する客観的	□評価法の開発		に向けた品質 の保持
					<u> </u>	冷	・ 凍水産物の熟 	成方法の開発		
		④加工食品の新たな品質保持技術の開発		$\xrightarrow{\downarrow}$					民間企業へ技術移転	
		⑤発酵食品の品質安定化	;	 道産和風キムョ 	│ Fの品質安定化 '	 の有用性評価 	民間企業へ技術移転			
								>		

研究推進 研究・抗	取り組み内容			第 III 期		第 IV 期	成果の普及、利用場面	アウトカム	
項目 術領域		R2	R3	R4	R5	R6	R7 以降		
3. 食品 加 (1) 食品 ボーシス を 支 え 横・シス・ム に 関 す る 研 究 開 発		ロボットハン	ドリング技術・	 の開発 	高	トビジョンシュま化技術の開発		・民間企業へ技術移転	食品の安全性 や生産性の向 上